

# Market Watching

発表日: 2020年3月9日(月)

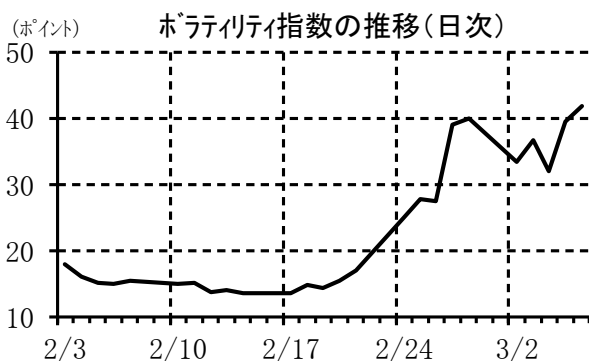
新型コロナウイルス世界蔓延で世界同時不況織り込みへ(マーケットウィークリー)  
 ~世界的な感染爆発でも移動制限強化でも景気にはダメージ~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

## 【先週の市場動向】

### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
3月2日(月)	日本: 法人企業統計 (10-12月) ・ 設備投資 (除ソフト)	▲2.0%	▲2.0%	+7.7%	前年比
	・ 経常利益	▲4.6%	—	▲5.3%	前年比
	日本: 新車販売台数 (2月) ・ 乗用車	▲10.7%	—	▲11.5%	前年比
	中国: 財新PMI製造業景気指数 (2月)	40.3	47.0	51.1	ポイント
3月3日(火)	米国: ISM製造業景気指数 (2月)	50.1	51.0	50.9	ポイント
	日本: 消費動向調査・消費者態度指数 (2月)	38.4	38.3	39.1	ポイント
	米国: 自動車販売台数 (2月)	1,683	1,690	1,680	万台
	豪州: 金融政策委員会	0.50%	0.75%	0.75%	RBA政策金利誘導目標
	マレーシア: 金融政策委員会	2.50%	2.75%	2.75%	翌日物政策金利
	米国: FOMC (臨時会合) ・ 上限金利	1.25%	—	1.75%	FF金利
3月4日(水)	・ 下限金利	1.00%	—	1.50%	FF金利
	ユーロ: 消費者物価指数速報値 (2月) ・ 総合	+1.2%	+1.2%	+1.4%	前年比
3月5日(木)	・ コア	+1.2%	+1.2%	+1.1%	前年比
	豪州: 実質GDP (10-12月期)	+2.2%	+2.0%	+1.7%	前年比
	ユーロ: 小売売上高 (1月)	+0.6%	+0.6%	▲1.6%	前月比
	ブラジル: 実質GDP (10-12月期)	+1.7%	+1.6%	+1.2%	前年比
	米国: ADP雇用統計 (2月)	+183	+188	+291	前月差、千人
	米国: ISM非製造業景気指数 (2月)	57.3	55.5	55.5	ポイント
3月6日(金)	カナダ: 金融政策委員会	1.25%	1.75%	1.75%	翌日物貸出金利
	日本: 家計調査 (1月) ・ 全世帯実質消費支出	▲3.9%	▲4.0%	▲4.8%	前年比
	日本: 毎月勤労統計 (1月) ・ 現金給与総額	+1.5%	+0.2%	0.0%	前年比
	米国: 雇用統計 (2月) ・ 非農業就業者数	+273	+190	+225	前月差、千人
	・ 失業率	3.5%	3.6%	3.6%	前年比
3月7日(土)	・ 時間あたり賃金	+3.0%	+3.0%	+3.1%	前年比
	米国: 貿易収支 (1月)	▲453	▲488	▲489	億ドル
3月8日(日)	中国: 貿易統計 (1-2月) ・ 輸出	▲17.2%	▲23.5%	+7.9%	前年比
	・ 輸入	▲4.0%	▲14.7%	+16.5%	前年比
3月8日(日)	—	—	—	—	—



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.762	▲38.6	▲93.9	▲201.0	1.208	1.449	1.589
日本	-0.145	+1.0	▲12.5	▲14.0	-0.075	-0.044	-0.123
ドイツ	-0.710	▲10.3	▲34.0	▲83.8	-0.478	-0.344	-0.400
豪州	0.675	▲14.3	▲41.7	▲142.0	0.938	1.094	1.128
株価							
NYダウ	25864.78	+1.8	▲12.0	+0.7	28119	28372	27351
日経平均	20749.75	▲1.9	▲13.1	▲3.9	22797	23351	22297
ユーロSTOXX50	3232.07	▲2.9	▲15.1	▲2.8	3657	3710	3577
上海総合	3034.51	+5.4	+5.9	▲2.2	2945	2979	2947
為替相場							
ドル/円	105.35	▲2.2	▲4.2	▲5.7	109.40	109.27	108.34
ユーロ/円	118.99	▲0.1	▲1.5	▲5.8	119.93	120.79	120.26
豪ドル/円	69.94	▲0.2	▲5.5	▲11.0	72.78	74.24	74.04
ユーロ/ドル	1.1284	+2.3	+2.7	▲0.2	1.096	1.105	1.110
商品市況							
WTI	41.28	▲7.8	▲19.0	▲26.6	49.61	55.71	55.75
金	1672.4	+6.7	+6.9	+29.9	1605	1545	1492

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (3/2~3/6) の金融市場は、FRBがリーマンショック時以来となる緊急利下げを実施したものの、新型コロナウイルスの蔓延と景気への影響に対するマーケットの懸念は晴れず、不安定な展開が続いた。G7財務相・中央銀行総裁臨時会合を行ったり、米国では新型コロナ対策で緊急予算を成立させるなど、世界は新型コロナウイルスの経済への影響を抑えるための方策を打ち出していったが、感染拡大が続く間は景気への効果は期待し難いとみて、市場を落ち着かせる効果は限定的なものにとどまった。また、2月の米経済指標は市場予想に近い結果となったが、米国での艦船拡大傾向が明確化してからの経済指標の見極めが必要として、市場の関心は低いものにとどまった。

今週のマーケットは、引き続き新型コロナウイルスの感染動向に関心が集まり、腰が引けたマーケット展開が続くと予想される。市場の反応通り、現時点での金融緩和政策や財政政策による景気の押し上げ効果はあまり期待できない。週内にはECB理事会が開催され、FRBの緊急利下げに追随する形の何らかの緩和策が決定されるとの見方が強いが、リスク回避の流れを変えることはないだろう。欧州では、最初に感染が拡大したイタリアから、フランスやドイツなどの周辺国に感染が広がりを見せており、そのペースも速い。これ以上の感染拡大を食い止めるためには、人の移動の制限がもっとも効果的なことは中国が証明しつつあるが、そうした措置が講じられれば、景気の急失速は不可避とみられるだろう。今後は、こうした国内外での移動の制限をかけるような増えてくる可能性がある。一般的には、抜本的な対策は市場に好感されることが多いが (たとえばバブル崩壊後の金融危機時における金融機関への資本注入と、これによる不良債権などの強制処理など)、今回に関してはその対策がどの程度有効で、どの程度の期間続くのかが見極められるまで、市場の不安は晴れないだろう。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
3月9日(月)	日本：実質GDP（10-12月二次速報値） 日本：国際収支統計（1月）・経常収支 日本：景気ウォッチャー調査（2月）・先行き判断DI	★★	▲6.6% +6,235 37.5	▲6.3% +5,240 41.8	前期比年率 億円、原数値
3月10日(火)	中国：消費者物価指数（2月）	★	+5.2%	+5.4%	前年比
3月11日(水)	米国：消費者物価指数（2月）・総合 ・コア	★ ★	+2.2% +2.3%	+2.5% +2.3%	前年比 前年比
3月12日(木)	日本：企業物価指数（2月） 日本：法人企業景気予測調査（1-3月） ユーロ：鉱工業生産（1月） ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利 ・ECB預金ファシリティ金利 ・ラガルト総裁記者会見	★★★★ ★★★★ ★★★★ ★★★★	▲0.3% — +1.4% 0.00% ▲0.50%	+0.2% ▲7.8 ▲2.1% 0.00% ▲0.50%	前月比 BSI大企業製造業 前月比
3月13日(金)	米国：ミシガン大学消費者信頼感指数（3月速報値）	★★★★	95.0	101.0	ポイント
3月14日(土)	—				
3月15日(日)	—				

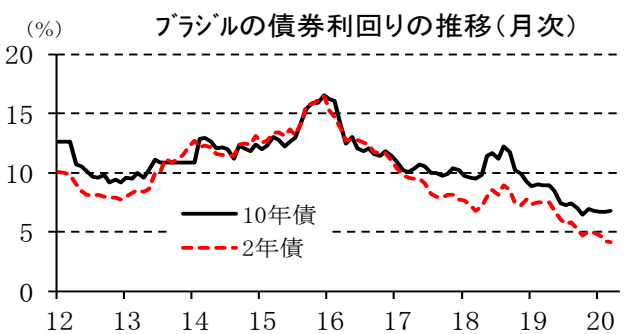
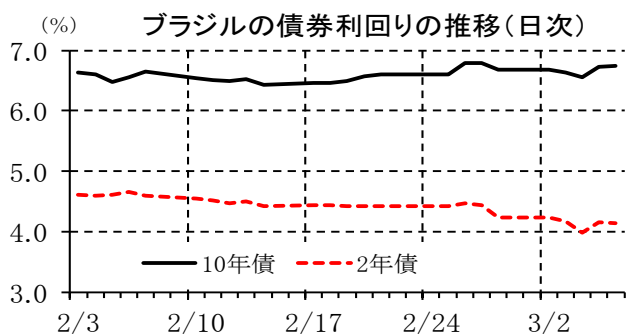
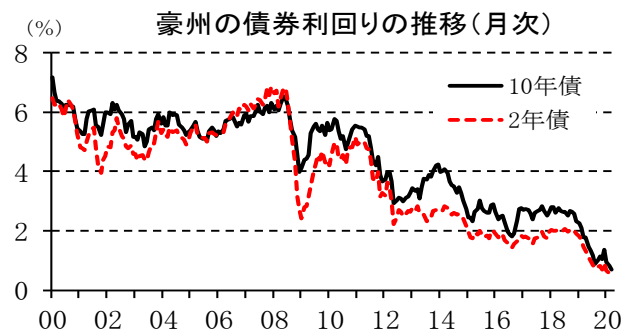
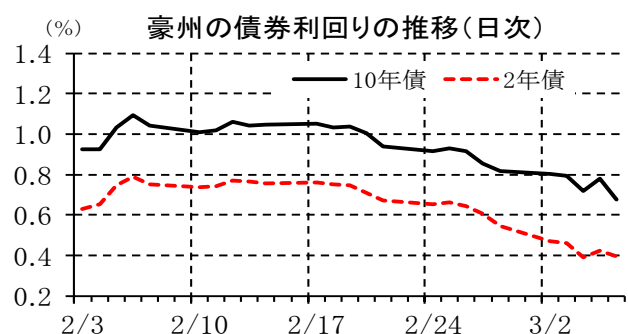
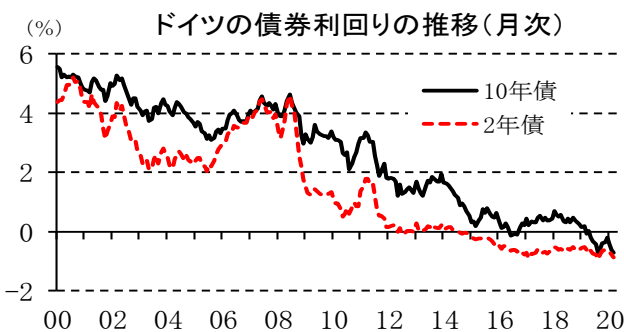
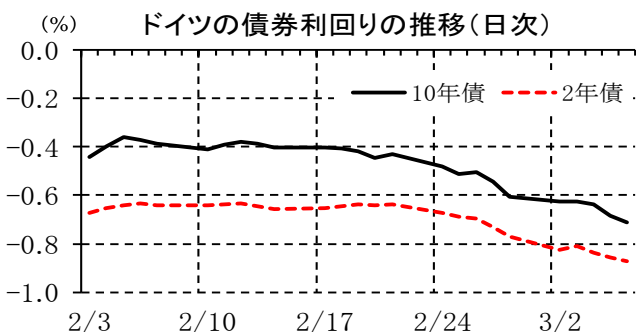
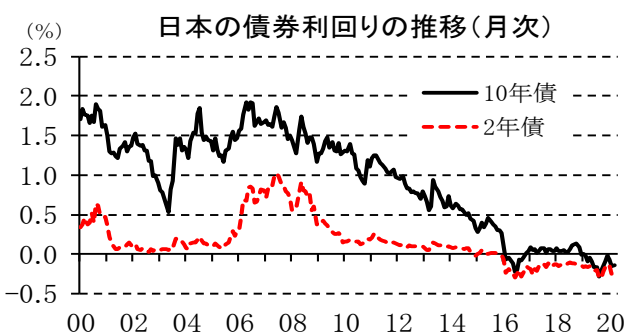
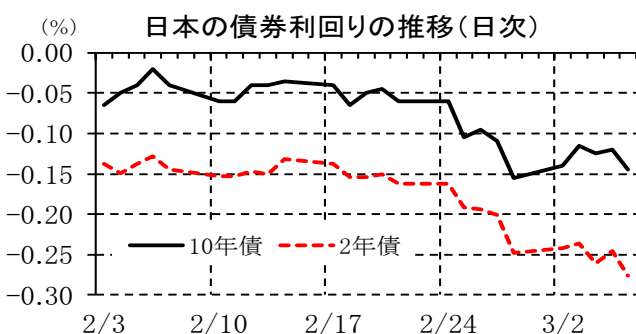
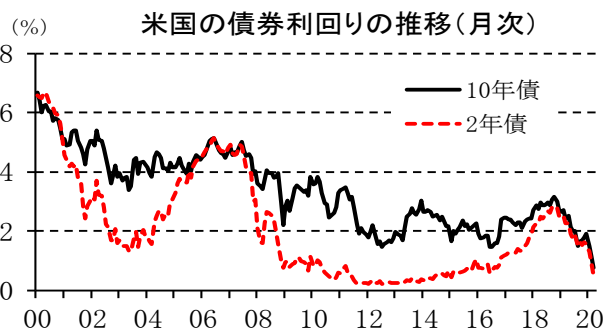
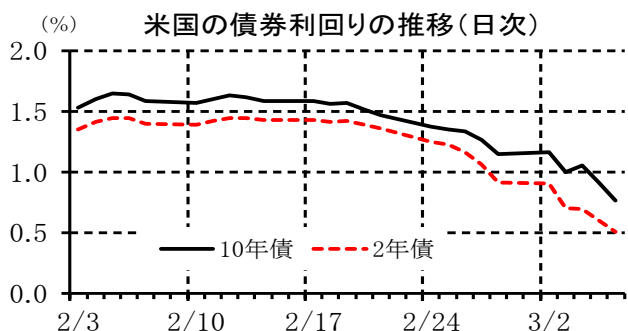
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

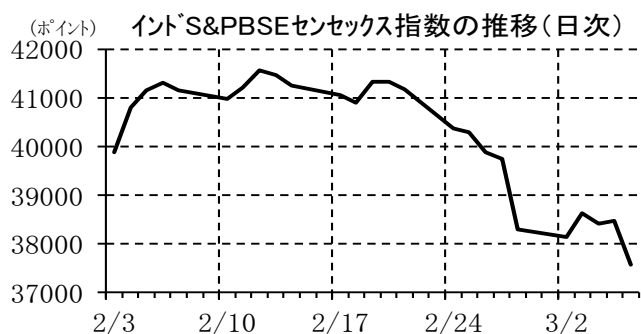
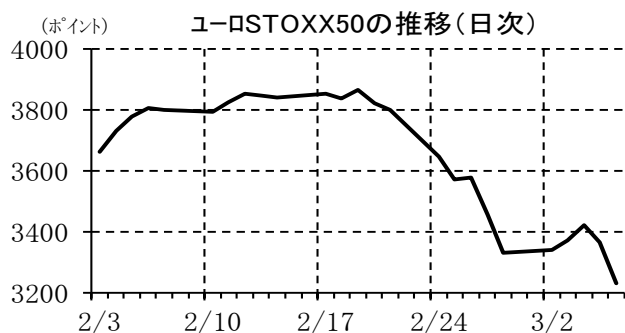
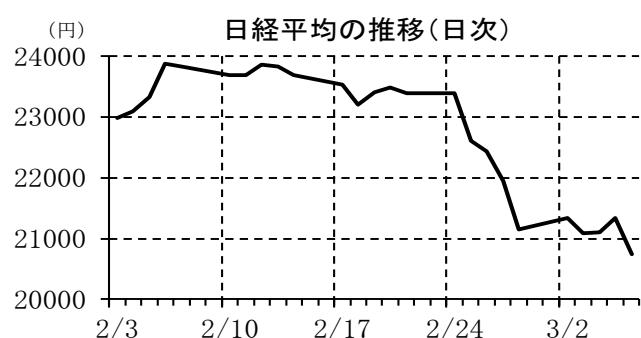
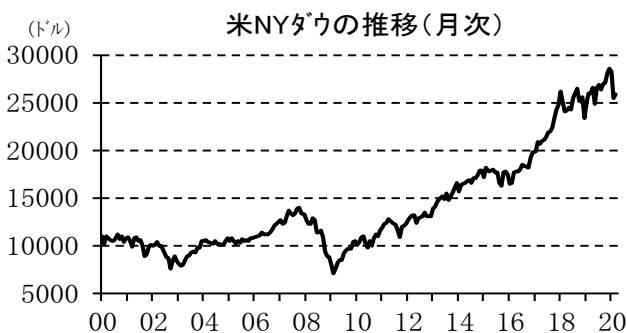
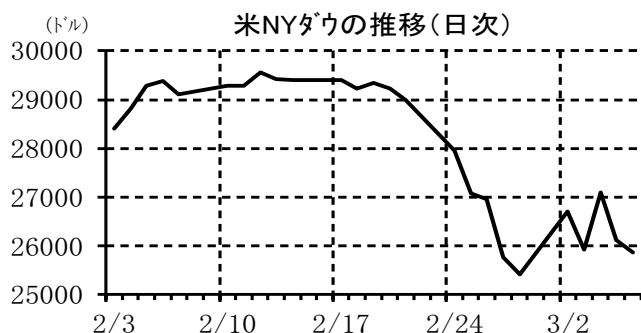
発表日	イベント	注目度	備考
3月9日(月)	—		
3月10日(火)	米国：大統領予備選（6州）	★★★★	
3月11日(水)	英国：予算発表		
3月12日(木)	—		
3月13日(金)	—		
3月14日(土)	—		
3月15日(日)	フランス：地方選挙（第1回投票）	★	

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

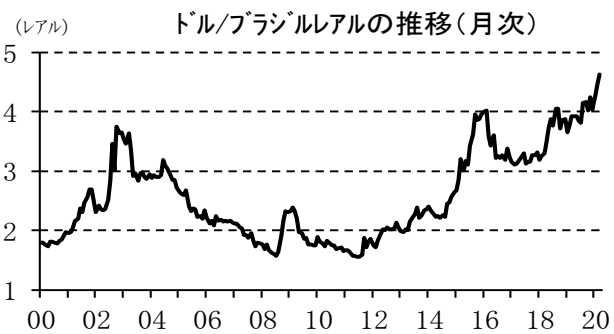
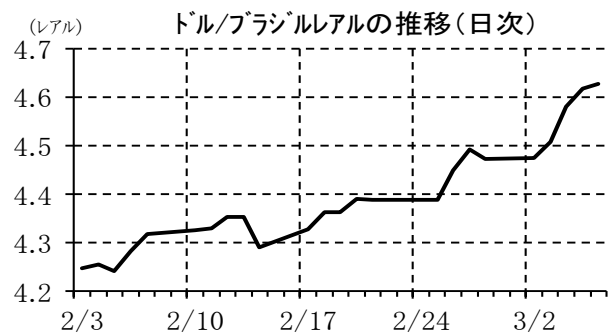
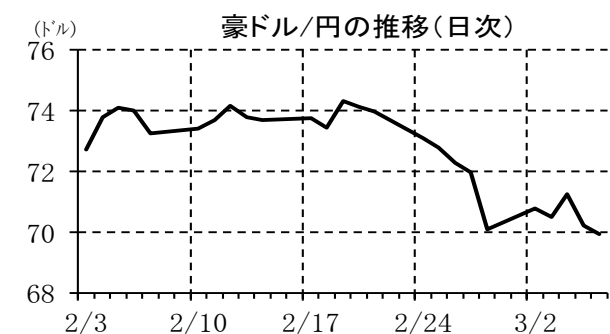
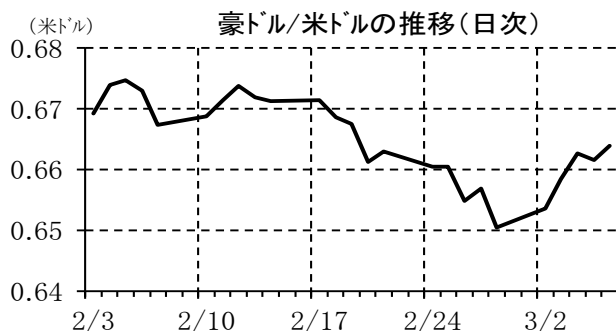
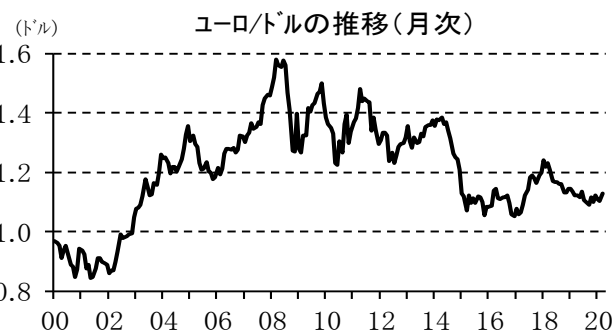
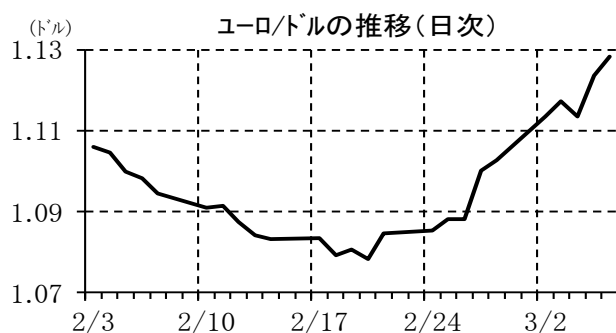
## 【債券利回り】



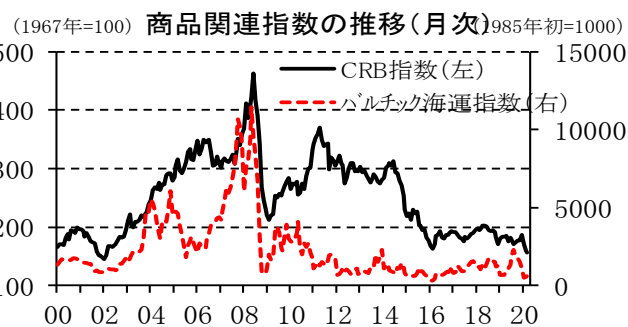
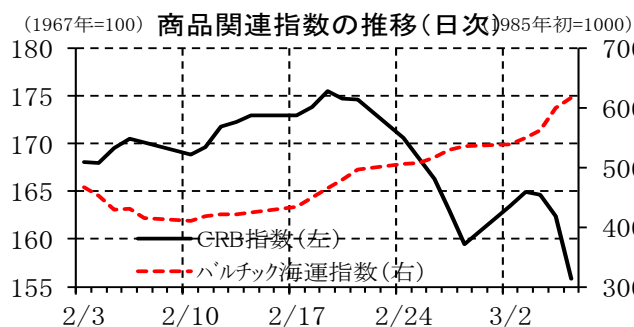
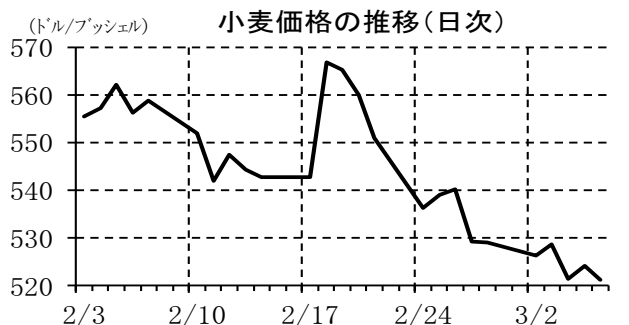
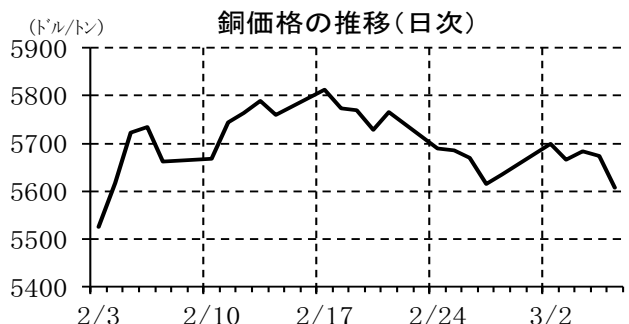
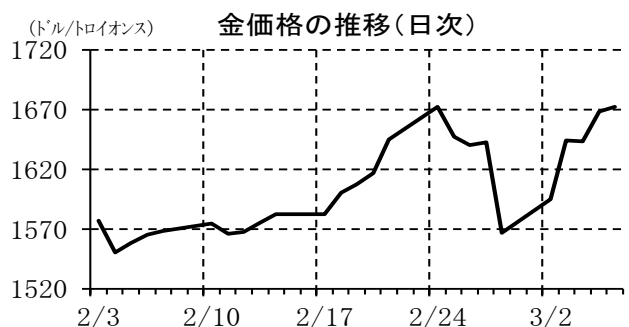
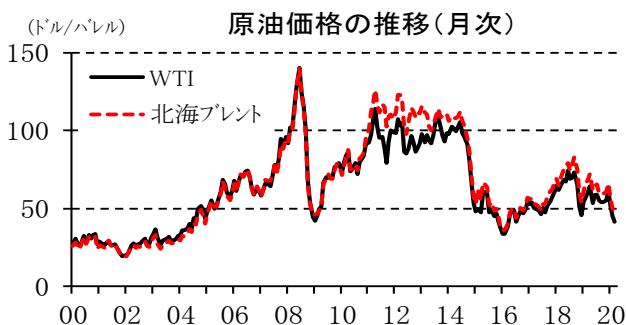
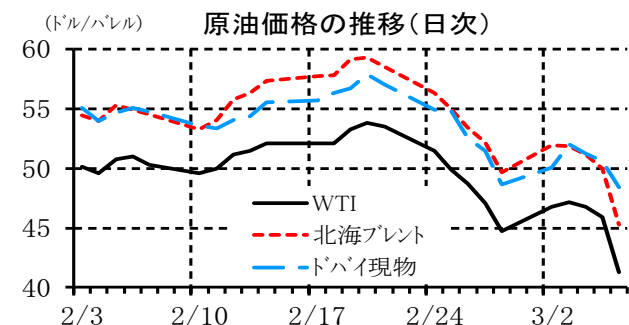
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

